

The social welfare in OSAKA



# 大阪の 社会福祉

2024年11月

834



社会福祉法 大阪市社会福祉協議会 <https://www.osaka-sishakyo.jp>



## 活動者・参加者が協力して作成 ～百歳体操弁天地域バージョン～



2・3面 特集

活動者の広げ方のススメ6

自分たちの活動として、より身近に感じてもらえるように

子どもは地域の共通の財産なんだから。

地域の町内会の元会長の葬儀に、地域内の小学校から転動した元教頭が参列していた▼この教頭はいう。子どものことは学校でできる限りのことはするけれど、学校は万能ではない。地域と学校が協力してこそ子どもの成長を支えることができる▼例えば、食事。貧困や家庭の生活習慣が原因で朝食を食べてこない子どもがいる。これを学校の手だけで解決することはできない▼例えば、子ども食堂のように、子どもの食事を支援する活動を地域の人が始めれば、学校と地域が一人の子どもをめぐって協力体制を作ることができると、町内会の役員や地域内の社会福祉施設、NPO法人などの間を駆け巡る▼子ども食堂ができると、毎回訪れて、食堂のスタッフの振り返りに参加する。食堂にこない子は、学校へ来ているか確認し、遅刻や欠席の場合は自宅に電話をする。次の食堂の時には迎えに行くという具合であった▼そして、町内会の会長が代わっても、自分が転動しても、その葬儀に駆けつける。こんな先生が私たちの町には存在していたんだと思わせる一コマだった。

(石)

HB

地域の町内会の元会長の葬儀に、地域内の小学校から転動した元教頭が参列していた▼この教頭はいう。子どものことは学校でできる限りのことはするけれど、学校は万能ではない。地域と学校が協力してこそ子どもの成長を支えることができる▼例えば、食事。貧困や家庭の生活習慣が原因で朝食を食べてこない子どもがいる。これを学校の手だけで解決することはできない▼例えば、子ども食堂のように、子どもの食事を支援する活動を地域の人が始めれば、学校と地域が一人の子どもをめぐって協力体制を作ることができると、町内会の役員や地域内の社会福祉施設、NPO法人などの間を駆け巡る▼子ども食堂ができると、毎回訪れて、食堂のスタッフの振り返りに参加する。食堂にこない子は、学校へ来ているか確認し、遅刻や欠席の場合は自宅に電話をする。次の食堂の時には迎えに行くという具合であった▼そして、町内会の会長が代わっても、自分が転動しても、その葬儀に駆けつける。こんな先生が私たちの町には存在していたんだと思わせる一コマだった。

# 特集

## 活動者の広げ方のススメ6

### 自分たちの活動として、より身近に感じてもらえるように



本記事では、新たな担い手発掘をめざして、市内各区・地域の工夫をこらした取り組みを紹介します。(「活動者の広げ方のススメ1〜5」は令和6年1〜4、7月号に掲載)

#### つばやきから新たな 取り組みにチャレンジ

港区社協会長であり、弁天地の社協・連合振興町会・地域活動協議会の会長を務める上田哲夫さん、同地域女性部長の池西郁子さん、ネットワーク委員長村上しずるさん、地域活動協議会等で活動する浅井安則さん、見守りコーディネーターの竹内有紀子さん、弁天第3コーポ町会長の木村重治さん



▲弁天地域の方々と区社協職員

に、同地域独自の取組みである、ご当地版いきいき百歳体操の動画作成について、また、地域活動を始めたきっかけや心がけていること等をお聞きしました。

港区内11地域ではそれぞれ独自に地域福祉活動計画※を作成しており、令和5〜8年度は第3期計画を推進しています。令和4年度には、第2期計画のふりかえりと第3期計画に向けたワークショップを地域ごとに開催し、弁天地域での話し合いで「百歳体操の弁天地域バージョンの映像を新たに作成してみたい」という発言があり、今回の取組みにつながりました。

#### ご当地版百歳体操動画を 作ろう

いきいき百歳体操は、映像を観ながらゆっくりと手足を動かす筋力づくりの運動です。弁天地域では、平成29年から毎週火曜日に実施しており、コロナ禍以降、時間を区切って2部制として継続しています。

毎回約20人が参加し、体力づくりやつながりづくりになって

いる一方で、毎回同じ映像を観るため、参加者からは変化を求める声もありました。他市でもマスコットキャラクターが登場するご当地版が映像化されていたこと、大阪市でも吉本新喜劇のメンバーが出演する映像が作成・活用されていたことから着想を得て、弁天地域版をつくることになりました。

具体化に向けて、活動に関わる方々と区社協職員が打合せを重ね、令和5年の夏から作成を開始しました。毎週の百歳体操開催と合わせて、打合せと撮影を繰り返し、令和6年5月に完成を迎えました。

#### 活動者・参加者みんなで 映像出演

作成に携わった活動者からは「ワークショップの時にポロツと発言があったが、まさか実現できるとは思っていなかった」「撮影日には皆さんおめかしして来てくれて、出演してくれたほとんどの方が続けて参加しています」といった声がありました。

区社協の会田亮第2層生活

#### 作成したご当地版百歳体操動画



▲YouTubeからどなたでも視聴できます

#### ■「いきいき百歳体操 港区弁天版」作成のながれ

##### 令和4年 きっかけ

- ・地域の話し合いで、「百歳体操の弁天地域バージョンの映像を新たに作成してみたい」との声があがる(計画冊子にも検討時の意見として掲載)

##### 令和5年 企画・撮影・編集

- ・具体化に向けて地域と区社協で打合せを重ねる
- ・全体構成、ナレーション、誰がどの部分で登場するか等の役割分担を検討。参加者にも出演してもらえるよう調整
- ・夏頃から冬まで約半年かけて作成(打合せ→撮影→打合せ→撮影を繰り返す)

##### 令和6年 完成・活用

- ・5月に完成・お披露目
- ・区社協のYouTubeチャンネルに投稿・一般公開
- ・毎週、上映しながら百歳体操を実施。参加者からも好評

※地域福祉活動計画とは、地域住民や社会福祉施設、社会福祉協議会など、社会福祉に関係する活動をおこなう者がみなで力をあわせて、「地域福祉を推進するために策定する具体的な活動及び行動の計画です」

## ■ 地域活動に関わるきっかけや思い / 活動を通してのエピソード

町会長を頼まれたことが地域への関わりのきっかけです。「やるからには楽しく」をモットーに活動し、今日集まっているメンバーをはじめ「皆さんに任せています」と言えるほど大きな信頼がある方々ばかりですので、皆さんから「これがやりたい」とあれば、その提案を大切に、やってもらえるようにしています。



上田会長



池西さん

日頃から無理なく活動に関わってもらえることや、やらされ感なく、一人でも多くの方が活動を続けてもらえるように意識しています。活動している皆さんには、一つの活動だけではなく、さまざまなことを互いに知ってもらえるといいなと思っています。担い手を増やしていくには、やはり直接声かけしていくことだと思うので、皆さんから感じた活動のおもしろさを伝えてもらえると、担い手が広がることにつながるとしています。それぞれの形で活動を継続してもらえるように、悩みやストレスを溜め込んでしまうことなく、何でも話してもらえるように心がけて取り組んでいます。



浅井さん

母親が認知症となり、いろいろな支援を受けたタイミングで、ちょうど地域でネットワーク委員を頼まれて、お世話になった分、自分もどこかでお返ししたいと引き受けました。ネットワーク委員長として、地域の見守り活動をすすめるなかで、少し前に見守り訪問をした方が孤独死してしまったことがあり、ものすごく辛かったです。これからも見守りを大切に、声をかけ合えるような地域にしていきたいです。



村上さん

町会長をしていた時に、百歳体操のスタッフにと池西さんから声をかけてもらって、「池西さんの頼みならやるしかない」と関わり始めました。地域活動に関わることで、これまで顔を合わせることも声をかけることもなかった方とつながることができました。私はこれが地域活動をする魅力だと思っています。



木村さん

私の場合はPTAの活動から始まり、今は見守りコーディネーターを務めて5年目になります。百歳体操へ継続的に来てくれている参加者で、実施場所の会館の3階まであがるのが一苦勞で、手すりを持ってでないとおぼろげな方がいました。でも、百歳体操を続けてきたことで手すりを使うことなく、元気にあがれるようになった方が何人かおり、「百歳体操を続けてやってきたから、体力ついたよ」「見て見て、手すりを使わなくてもあがれるで」と笑顔で報告してくれた時は嬉しい瞬間でした。



竹内さん

浅井さんと同様に、池西さんから声をかけてもらい百歳体操のスタッフに加わりました。百歳体操に限らず、弁天地域の皆さんが安全に、また活動しやすいように、すみのすみまでサポートするのが地域活動に関わるうえでの自分の役割だと思っています。

※取材当日は欠席のため、後日聞き取り



▲弁天地域の活動について、皆さんから熱い語りがありました(10月1日)

## 活動者を広げていくためのポイント

### やるなら楽しく活動し、みんなで活動する

- 無理なく、10~15分でも参加しやすいように工夫する
- “参加して楽しい”をアピール!やるなら楽しく、やりがいを感じてもらえるように
- 関わるみんなに、他の活動も知ってもらい、支える輪を広げる

### 新しいことにチャレンジしやすい雰囲気づくり

- 提案しても受け入れてもらえやすい関係性や雰囲気づくりを大切に
- つぶやきや提案から打合せを重ね、カタチにできるよう取り組む